

【小項目評価基準】 評価5・・・年度計画を大幅に上回って実施している。／評価4・・・年度計画を上回って実施している。／評価3・・・年度計画を順調に実施している。
評価2・・・年度計画を十分に実施できていない。／評価1・・・年度計画を大幅に下回っている。

大項目	小項目			ウエイト	自己評価		自己評価の判断理由 (※評価3以外の項目は色付きにて記載)
					6年度	(参考) 5年度※	
第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置							
	1 医療サービス	(1) 良質な医療の実践	こども病院	2	3	3(→4)	○ 目標値については、1人1日当たり入院単価、1日当たり入院患者数、病床利用率及びPICU利用率は目標値を下回ったが、それ以外の指標で目標値を上回るとともに、小児のコロナ感染患者に対する小児救急医療の提供やこども支援室を設置するなど、年度計画を順調に実施していると判断し、自己評価は「3」とする。
			市民病院	2	3	3(→4)	○ コロナ病床確保等特例措置終了後も引き続き重症化リスクのある患者受入を積極的に行い、感染症対応を継続しながら高度専門医療・救急医療の安定的な提供に取り組んだ。目標値については、救急搬送患者の入院率以外は達成し、年度計画を順調に実施していると判断し、自己評価は「3」とする。
		(2) 地域医療への貢献と医療連携の推進	こども病院	2	3	3(→4)	○ オープンカンファレンス参加者数及び退院支援計画件数以外の指標で目標値以上となるとともに、オープンカンファレンス等を通じた地域の医療従事者等への教育研修を実施するなど、年度計画を順調に実施していると判断し、自己評価は「3」とする。
			市民病院	2	3	3(→4)	○ 目標値については、新規紹介患者数、オープンカンファレンス開催件数、参加者人数は目標値を下回ったが、連携先医療機関への積極的な訪問や、退院前カンファレンスの充実、医師が同乗した迎え搬送の開始など、年度計画を順調に実施していると判断し、自己評価は「3」とする。
		(3) 災害・感染症等への適切な対応	こども病院	2	3	4	○ 高潮災害を想定した災害タイムラインの作成やPPE(個人用防護具)の必要在庫の確保、外部研修への派遣による危機対応能力を持った職員の育成など、事業を継続するために必要な取組を行うとともに、高潮災害に備えた施設・設備の減災に係る取組を行うなど、年度計画を順調に実施していると判断し、自己評価は「3」とする。
			市民病院	2	3	4	○ 博多消防署や福岡空港検疫所支所、福岡市保健所など行政との各種合同訓練を実施するとともに、救急・災害医療の研修会への講師派遣といった活動を推進するなど、年度計画を順調に実施していると判断し、自己評価は「3」とする。
	2 患者サービス	(1) 患者サービスの向上	こども病院	2	3	3	○ 患者本人向けの退院時アンケートを開始し、患者及び患者家族の要望をより反映できるよう体制を強化したほか、スマートフォンアプリを利用した患者呼出システムの本格運用開始など利便性の向上に取り組むとともに、院内環境を整備するなど、年度計画を順調に実施していると判断し、自己評価は「3」とする。
			市民病院	2	3	3	○ 患者のニーズを把握し医療サービスの質向上に向けた改善活動を行うとともに、患者・家族等からの相談に適切に対応するなど、年度計画を順調に実施していると判断し、自己評価は「3」とする。
		(2) 情報発信	こども病院	1	3	4(→3)	○ 広報誌やホームページ等を活用した情報発信を行うとともに、地域住民を対象とした講座及び子育て中の保護者を対象とした専門医による新聞コラムの掲載を継続して行うなど、年度計画を順調に実施していると判断し、自己評価は「3」とする。
			市民病院	1	3	3	○ SNSを活用した広報や、市政だより・新聞記事による情報発信を積極的に行うなど、年度計画を順調に実施していると判断し、自己評価は「3」とする。
	3 医療の質の向上	(1) 病院スタッフの計画的な確保と教育・研修	こども病院	2	3	3	○ 意欲ある人材確保に向けた取組の実施、新人看護職員等への計画的な研修の実施、他施設に従事する新人看護職員を対象とした研修の開催、認定看護師等資格取得支援制度を活用した有資格者の拡大など、年度計画を順調に実施していると判断し、自己評価は「3」とする。
			市民病院	2	3	4	○ 派遣看護師の活用など看護職員の負担軽減を図りながら、採用活動に積極的に取り組むとともに、資格取得支援を継続して行うなど、年度計画を着実に実施したことから、自己評価は「3」とする。
		(2) 信頼される医療の実践	こども病院	2	3	4	○ 医療安全等の研修開催数及び栄養食事指導・相談件数の指標で目標を上回るとともに、感染防止対策の強化やTeam STEPPS®研修会の開催等による医療安全対策の強化など、安全・安心な医療の提供に積極的に取り組んだ。また、病院機能評価で明らかとなった課題に対する業務改善に継続的に取り組むとともに、薬剤師の薬物療法への関与による医療安全の確保を図るなど、年度計画を順調に実施していると判断し、自己評価は「3」とする。
			市民病院	2	3	3	○ 薬剤管理指導件数は目標値に届かなかったが、クリニカルパス専任看護師の配置を行い患者中心の医療の実践を図るなど年度計画を着実に実施したことから、自己評価は「3」とする。

大項目	小項目	ウエイト	自己評価		自己評価の判断理由 (※評価3以外の項目は色付きにて記載)		
			6年度	(参考) 5年度※			
第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置							
	1 自律性・機動性の高い運営管理体制の充実	1	3	3	○ Webを活用しながら理事会や経営会議等を適宜開催し、迅速かつ的確に対応できる機動性の高い病院経営を行うとともに経営アドバイザーを活用した法人経営改革会議の設置など、年度計画を確実に実施しているため、自己評価は「3」とする。		
	2 事務部門の機能強化	1	3	3	○ 経理担当者会議等を開催するとともに、主任級及び係長級研修に加え、課長級及び部長級職員に対し、外部講師による研修を実施するとともに、全職員を対象に情報セキュリティに関する知識のみならず、インターネットや各種デバイスの利用方法等をIT基礎知識の確認としてテストを実施するなど人材育成の強化に取り組んだため、自己評価は「3」とする。		
	3 働きがいのある職場環境づくり	1	3	3	○ 子の看護休暇等制度の取得事由の拡充検討、介護離職防止のための相談体制の整備や、両病院における各職種のタスクシフト等の取組など、職員が安心して働き続けることができるよう取り組んできたことから、年度計画を確実に実施しているため、自己評価は「3」とする。		
	4 法令遵守と公平性・透明性の確保	1	2	3	○ コンプライアンスやハラスメント、情報セキュリティ、個人情報保護についての研修を実施するとともに、個人情報の保護や情報公開についても適切に対応したが、パワー・ハラスメントによる懲戒処分事案が2件発生し、市民の皆様の信頼を損なうこととなったため、自己評価は「2」とする。		
第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置							
1 持続可能な経営基盤の確立	(1) 経営基盤の安定化と運営費負担金の適正化	こども病院	2	2	3	○ 医業収支比率が目標値を下回っており、年度計画を十分に実施できていないと判断し、自己評価は「2」とする。 収支悪化の背景として、高額医療機器の更新や心臓血管外科医師数減の影響による手術件数の減、施設基準の要件変更により、基準を満たす医師の確保が困難であることによるPICU及びMFICUの入院管理料の取り下げによる入院単価の減等による収益の減と高額医薬品の使用増や有期職員の賞与支給額増による費用の増等が挙げられる。医師の確保が困難となっているため、医師確保の手立てを模索していく必要がある。	
		市民病院	2	3	3	○ 施設基準の要件を遵守しながら、紹介・救急患者の受入れを積極的に行うことで病棟の稼働率改善を図るなど年度計画を着実に実施したことから、自己評価は「3」とする。	
	(2) 投資財源の確保		1	2	3	○ 高額医療機器の更新などは効果的に行ったが、一方で経常収支改善に努めたものの当期純損失が発生し、新たな投資財源を確保できなかったことから自己評価は「2」とする。	
	2 収支改善	(1) 収益確保	こども病院	2	3	3	○ 1人1日当たり入院単価、1日当たり入院患者数及び病床利用率については目標値を下回ったが、それ以外の指標で目標値を上回るとともに、保険診療検討ワーキングチームを中心とした診療報酬請求プロセスの改善活動に取り組み、二次査定率を低く抑えるなど、年度計画を順調に実施していると判断し、自己評価は「3」とする。
			市民病院	2	3	3	○ 診療報酬改定についての的確に対応し、救急患者受入れ体制や病床利用率等に関する情報共有を徹底した結果、目標値を概ね達成するなど、年度計画を着実に実施したことから、自己評価は「3」とする。
		(2) 費用削減	こども病院	2	3	3	○ 有期職員の業績手当の増額等により給与費対医業収益比率が目標を下回ったほか、高額医薬品の使用量の増により、薬品費対医業収益比率が目標値を下回ったが、ICT(情報通信技術)を活用した事務業務の効率化の推進や市民病院との同種同効品の統一などによる診療材料費の削減、省エネルギー推進委員会を中心とした光熱費縮減に向けた取組を行うなど、年度計画を着実に実施していると判断し、自己評価は「3」とする。
			市民病院	2	3	3	○ 手術時の麻酔に関する説明動画等の活用による業務時間の効率化やこども病院との診療材料費削減プロジェクトによる診療材料費削減のための活動を積極的に行った結果、薬品費対医業収益比率以外の指標は目標値を達成することができ、年度計画を順調に実施していると判断し、自己評価は「3」とする。
	第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置						
		1 福岡市立こども病院における医療機能の充実	こども病院	2	4	4	○ 科学研究費助成事業(文部科学省)等の臨床研究や治験業務に積極的に取り組み、小児・周産期医療の発展や新薬の開発に貢献するとともに、成人を含むDPC病院の中で、川崎病の症例数9年連続全国1位や複雑な先天性心疾患に係る難易度の高い手術症例数が全国2位(前年度まで8年連続全国1位)となるなど、年度計画を上回って実施していると判断し、自己評価は「4」とする。
	2 福岡市民病院における経営改善の推進	市民病院	2	3	3	○ インフルエンザ・コロナ等感染症について、重症化リスクのある患者の積極的な受入れと並行して、紹介患者・救急患者受入れの強化を図ったことで病床利用率は目標値を上回り医業収益も増加するなど、年度計画を着実に実施したことから、自己評価は「3」とする。	

※法人の自己評価と異なる評価を市が行った場合、右の要領で記載。(例:3(→4) 法人自己評価「3」→市の評価「4」)